

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い けん そ う ぶ つ

指定文化財(建造物)



場所

・ 笠岡市甲弩



時代

・ 戦国時代



指定年月日

・ 平成13(2001)年
3月23日



所有

・ 神護寺



見学

見学可

じんごじほんどう ふむなふだ

神護寺本堂 附棟札

新高総早倉矢井浅里
見梁社島敷掛原口庄
市市市町市町市町

笠岡市



この建造物について

神護寺の本堂は、笠岡市内に残る最も古い木造建築です。屋根を支える棟木には、戦国時代の永禄11(1568)年に小田高清の命令で、藤原乗久が建築したことが書かれています。いつ、誰が建てたのかわかっている室町時代の建築として高く評価されています。